

今外来で多い病気 ヘルパンギーナ

- ・ 夏場に多いウィルス感染症です。

突然39 - 40 の高熱と、のどの痛みを生じます。のどちんこのまわりに白い水疱が出来ていることでヘルパンギーナと診断します。

この水疱が破れると、食べたり飲んだりするとしみて痛みを生じます。

潜伏期は3 - 6日と比較的短いです。

- ・ 熱は3日前後続きます。特效薬はないので、対症療法を行います。

- ・ まれに髄膜炎を合併することがあります。頭痛が続き、嘔吐をくりかえすようでしたら注意が必要です。